



## 思いを込めて1つ1つ丁寧に 小学校サラダ玉ねぎ苗植え体験

12月15日(休)、津奈木小学校3・4年生がサラダ玉ねぎの苗植えを体験しました。町が進める「つなぎFARM」の取り組みの一つで、JA津奈木青壮年部と協力して行っています。植え付けたサラダ玉ねぎはことしも株式会社社文化の協力のもと本校の児童が作成する商品ページで販売を予定しています。

さらに今回は、本町のPRを目的とした「つなぎのツナギ」プロジェクトの一環として児童たちは水色や黄色、カーキ色などさまざまな色のつなぎ服を着用し作業しました。



↑みんなで記念にハイチーズ

↓1本1本丁寧に苗を植えました



↑つなぎ服を着て準備万端、畑へ出発!

## 晴れ姿を笑顔で披露 津奈木保育園お遊戯会

12月17日(出)、つなぎ文化センターで津奈木保育園お遊戯会が開かれました。園児たちはかわいらしいダンスや気合いの入った声での和太鼓演奏、ソーラン節などを披露。観覧に来た保護者は「新型コロナウイルスが流行している中、我が子の晴れ姿を間近で見ることができてうれしいです」と話していました。



↑練習の成果を十分に発揮しました

↓感謝状を受け取る福崎代表取締役



## 株式会社福栄から200万円の寄附 企業版ふるさと納税感謝状贈呈式

12月12日(月)、長崎・福岡・大分・熊本を中心に、住宅資材の販売・施工・プレカット加工などを行っている「株式会社福栄」から本町では初となる企業版ふるさと納税の寄附をいただき、町長から同社の福崎國久代表取締役へ感謝状が贈呈されました。寄附金は「世界とつながり、津奈木町への新しいひとへの流れをつくる」事業に活用します。

## 後世に語り継がれる作品を目指して たろうつなぎプロジェクト成果展記念対談

現在つなぎ美術館で開催中のたろうつなぎプロジェクト成果展「たろうとニッポン画わたし話」の記念対談が12月11日(日)、つなぎ文化センターで開催されました。たろうさんは「今回制作した昔話が津奈木町で100年後、200年後まで語り継がれるようなものになっていれればいい」と作品に込めた思いを話していました。



↑作品への思いやこれまでのいきさつを語るたろうさん

↓男女和気あいあいと試合を楽しみました



## 笑顔で楽しくプレー フレンドリーカップ・ビーチバレー大会

12月11日(日)、ビーチバレーを通じて交流や親睦を深めることを目的に「第6回フレンドリーカップ・ビーチバレー大会」がB&G体育館で開催され、8チーム(約70人)が参加しました。会場ではファインプレーや珍プレーに歓声や笑い声が上がり、男女共に楽しみながら交流を深めました。閉会式の抽選会では、全チームにちょっとした賞品が贈られました。

## 農業の魅力、食の大切さを学ぶ 中学校大根収穫体験

12月13日(火)、津奈木中学校1年生29人が地元特産の大根の「寒漬」づくりに取り組み、自分たちで育てた大根を収穫して干す作業を行いました。町が進める「つなぎFARM」の取り組みの一つで、農業の素晴らしさや食の大切さを学んでもらおうと、JA津奈木青壮年部と協力して行っています。

「寒漬」は、大根を干して塩やしょうゆに漬けた地元の特産品。中尾地区の畑で育ててきた大根を、生徒は農家に教わりながら折れないよう1本ずつ丁寧に引き抜き、ついたどろを手作業で洗い流しました。その後、校舎の軒先や柵などにつるしていききました。大根は約1週間風にさらしたあと、約3週間塩漬けにし、再び天日干しにして水分を抜きます。みりんや酢、しょうゆなどを合わせた調味液に漬けると完成で、つなぎ百貨堂などで販売する予定です。大根を収穫した生徒は「大根を引き抜くのに意外と力が必要だった。みんなと協力し、引き抜くことができたときはかなり達成感があった」と話していました。

↓協力して大根を引き抜く生徒たち



↑冷たい水で丁寧にどろを洗い流します



↑校舎の軒先や柵などいたるところで大根を干しました